



運営委員会 会長  
伊藤 清孝



県本部長  
高橋 司



農家組合員ならびに会員の皆様、そして関係各位におかれましては、輝かしい新年の幕開けをお迎えのこととお喜び申しあげます。旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございます。

さて、昨年は能登半島地震や羽田空港での航空機衝突事故という大きな災害・事故の発生による年明けとなりましたが、日経平均株価の史上最高値更新や日銀のマイナス金利解除など経済面では復調の兆しがみられた一方で、4月には1ドル160円台になるなど大幅な円安基調に代わって各地での紛争激化による地政学的リスクに起因する国内消費者物価の上昇が継続し、国民生活への影響が大きくなりました。

また、農業生産現場では、恒常化する猛暑により厳しさを増す栽培・飼育環境にくわえて、国際相場に起因する生産資材・飼料高騰が生産コストを押し上げる状況が続くなか、生体市場や枝肉相場は上昇せず、特に畜産農家にとっては深刻な状況が続いています。一方で、8月の南海トラフ地震臨時情報を発端とした米の備蓄の動きにより、需給が引き締まったことで米の価格が上昇しました。

このような状況のなか、本会は「2030年のあるべき姿」を踏まえた全体戦略にもとづく今次中期計画の達成と「第46回JA岩手県

大会」の決議事項である「持続可能な食料農業基盤の確立」の実現に向けて、実需者との結びつき強化をはじめとしたマーケティングにもとづく生産・販売事業の強化に取り組んでまいりました。くわえてJAグループが一体となり環境調和型農業の実現に向けた取り組みを推進しました。

本年は、次期計画の初年目として、引き続き「2030年のあるべき姿」に向けた着実な事業展開と「第47回JA岩手県大会」で決議された「食料農業基盤の確立」の実現に向けて、実需者ニーズを踏まえた生産販売一体の取り組みにより、純情産地いわてブランドを高め、生産者の所得向上をはかります。また、農業ICT導入による生産効率向上や「純情産地いわて」「みどり戦略ビジョン」の実践による環境調和型農業に取り組むとともに、JAの経済基盤強化への支援も実施してまいります。

これらの取り組みをつうじて、「純情産地いわて」が消費者から支持され、県内の農家組合員が営農活動を継続できる生産基盤の確立に向け、役員一丸となって取り組んでまいります。皆様の変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



あけましておめでとうございます。年頭にあたりご挨拶申し上げます。

昨年を振り返りますと、世界情勢が大きく変動する中で、本会事業も多くの影響を受けました。特に円安や地政学的リスクの高まりにより、エネルギー・生産資材・飼料の高止まりが続く、農畜産物の生産コストが上昇し生産基盤をゆるがす深刻な課題となりました。

また農業生産面では、気候変動が顕著になつており、農作物の生産に大きな影響を与えるなど、会員JA、農家組合員の皆様におかれましても、これまでにない課題に直面しています。

このような情勢の中、本会においては今次中期計画の最終年として、①純情産地いわての持続可能な生産基盤確立、②実需や多様なマーケットに対応する販売体制の拡充、③生産者手取り最大化に向けたトータルコスト低減などを実施してまいりました。

次期計画は、なくてはならない全農であり続けるため、「2030年の全農のめざす姿」に向け「JA全農事業ビジョン2030」をかかげ、第47回JA岩手県大会で決議された「未来につながる岩手農業」「純情産地いわて」の確立のために、次の施策を中心に取り組みをすすめてまいります。

① 将来にわたる農業生産基盤の強化では、農業ICTを中心とした各種新技術の実装支援や、オーダーメイドB肥料担い手直送規格農業の提案等、トータルコストの低減に取り組んでまいります。② 農家手取り向上に向けた販売力の強化では、各品目における高温対策や、主食用米の買取販売、実需者ニーズに対応した園芸直接販売の拡大、「いわて牛」のブランド力強化と販路拡大等の取り組みのほか、輸出事業の拡大もすすめてまいります。③ ゆるぎない食料農業基盤を支えるJA営農指導体制の強化では、担い手情報を三元化する新たなTACシステム「NEサポートシステム」を活用し、「農家手取り最大化」実践メニューの水平展開に取り組んでまいります。

また、JA経済事業強化に向けた新たな支援策については、一律ではなくJA毎に取組内容を決定し、各事業別にJAと一体となった取り組みをすすめます。

本会は、岩手の農業の発展と農家組合員の所得増大に貢献すべく、JA組合員の皆様の声と真摯に向き合い、期待に応える「なくてはならない全農」であり続けてまいります。本年も皆様のより一層のご支援ご協力を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

特集

# 岩手県内大学に食材提供

令和6年11月11日(月)～29日(金)

本会では、県内大学生に向けて、栄養面のサポートと「純情産地いわて」の食の豊かさを知ってもらうため、岩手県立大学、盛岡大学、富士大学の学生食堂に県産食材を提供し、それらを使用したメニューが11月11日から29日まで各学生食堂で提供されました。今回提供した食材は岩手町のブランドキャベツ「いわて春みどり」、ピーマン、菌床生しいたけなど岩手県の主力農産物で総計230キロです。岩手県立大学の学生食堂では、これらを使った副菜を各日200食限定で提供され、気に入ったメニューを自宅でも作れるようレシピも掲示されました。レシピは岩手県立大学と盛岡大学の学生食堂が協同で考案し、調理工程を少なくし、市販の調味料を使って手軽に作れるよう工夫されました。

メニューは11月11日から29日まで週替わりで提供され、学生食堂でメニューを食べた岩手県立大学の学生からは「値段も安く手に取りやすい」「岩手の食材を意識する機会になった」などの感想が聞かれました。

12月には岩手大学の学生食堂にも県産食材が提供され、大学生が考案したメニューが提供されました。



ま え む き に  
ひ た む き に  
純 情 産 地  
い わ て



提供食材：キャベツ(いわて春みどり)、ピーマン、菌床生しいたけ



県産食材を使ったメニューを食べる岩手県立大学の学生

● 提供期間・提供メニュー

- 令和6年11月11日(月)～キャベツとわかめのナムル風サラダ
- 令和6年11月18日(月)～ピーマンの揚げ浸し
- 令和6年11月25日(月)～椎茸の旨煮



学生食堂でのメニュー提供の様子



贈呈食材が使用されたメニュー

## ◆ 全国和牛能力共進会に向けて

令和6年11月27日(水)

### 第13回全国和牛能力共進会決起大会

11月27日、「第13回全国和牛能力共進会」に向けた決起大会を岩手県の盛岡市市民文化会館姫神ホールで開催しました。公益社団法人全国和牛登録協会岩手県支部(事務局・本会)が生産者の機運を高めるために開催したもので、岩手県、JA、生産者が連携して全区優等賞入賞および名誉賞の獲得を目指します。

決起大会には県内各JA、市町村などから生産者や関係者約300人が参加し、講演会では一般社団法人北海道酪農畜産協会から家畜登録改良部の岸大輔部長が次回開催地である北海道の取り組みと現状を発表し、「北海道・東北勢で上位を占められるよう頑張っていきましょう」と呼びかけました。続いて、公益社団法人全国和牛登録協会の穴田勝人専務理事は「『いわて牛』の歩んできた物語に着目し、新たな価値の創造にも取り組んでほしい」と激励、最後に本会の高橋司県本部長の音頭で「頑張ろう」を三唱し閉会しました。

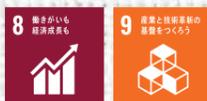
全国和牛能力共進会は和牛の能力と斉一性の向上を目指し、5年に1度開催され、第13回大会は2027年8月26日から30日まで、北海道の帯広市と音更町で開催されます。



北海道酪農畜産協会家畜登録改良部の岸大輔部長による講演



「頑張ろう」の三唱



## ◆ 「いただきます」を学ぶ食育の取り組み

令和6年11月27日(水)

### 野田村特産「南部福来豚」出前授業

11月27日、岩手県野田村特産のブランドポーク「南部福来豚」について学ぶ食育授業を野田中学校で行いました。出前授業は、地元食材や畜産業への理解を深めるため、1年生を対象に毎年野田村などが企画しており、今年も、(株)のだファーム取締役の川口正文さんを中心に、野田村とJA全農くみあい飼料(株)と本会が連携して、豚の生態や飼育環境から給食になるまでの過程を紹介しました。

生徒からは「豚がどのような環境で飼育されているのか知ることができて良かった」「命をいただいていることに感謝をしていただきますの挨拶を忘れないようにしたい」などの意見が聞かれました。

給食では普段より肉の使用量を1.5倍に増やした「南部福来豚の豚キムチ」が村内の小中学校と久慈工業高校で提供され、生徒たちはおいしそうに味わいました。

本会は、今後もいわての未来を担う子ども達を中心に、食と農に対する関心を深めてもらう食育活動の取り組みを行っていきます。



「南部福来豚」をおいしそうに味わう生徒たち



## ◆ 「いわて純情米」のさらなる需要拡大と安定供給に向けて

令和6年11月18日(月)

### みちのく純情会

本会といわて純情米を扱う県外の卸業者5社で構成される「みちのく純情会」は11月18日、「令和6年度 第3回みちのく純情会」を開催しました。盛岡市内の盛岡グランドホテルを会場に、みちのく純情会会員のほか、県内JA、(株)純情米いわて、県関係者など56名が出席し、岩手県産米の生産状況や集荷、販売戦略の取り組みについて共有したほか、それらについて活発な意見交換が行われました。

令和6年度岩手県産米の作況指数は106の「良」で、1等比率は96.1%と全国1位となり、品種別でも「銀河のしずく」99.5%「金色の風」98.2%などいずれの品種も高品質となりました。会議では、県産米のさらなる需要拡大と安定供給を目指し、地域JAごとにカスタマイズする「シン・庭先集荷」などの集荷対策や、岩手県・JAいわてグループが一丸となる「オールいわて」での販売強化などが示されました。

また、令和5年産米「銀河のしずく」トップ営業マンとして、大和産業株式会社(本社愛知県名古屋市)の大平峰克さんが表彰されました。



みちのく純情会の様子



大和産業株式会社の大平峰克さん(右)と、全農岩手県本部運営委員会の伊藤清孝会長(左)



## ◆ 若手酪農家が共に学び、課題を共有

令和6年11月22日(金)

### 次世代酪農家の集い2024

11月22日、「次世代酪農家の集い2024」を岩手県産業会館で開催しました。この集いは、県内の若手酪農家と彼らをサポートする指導者の育成を目的に、2022年から毎年開催しており、当時就農5年以内の酪農家を対象に、酪農経営の知識とスキルを身につけています。

この日は20代の酪農家21人と、JAや農業改良普及センターの関係者27人が出席し、開会式では、本会の畜産酪農部の大津信一次長が「酪農を学び、情報共有できる仲間をつくって知識を得てほしい。しっかり勉強すれば結果は出る」と参加者を激励しました。

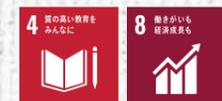
その後の事例共有では、8人の酪農家が登壇し、乳牛の飼育・管理方法など各々の取り組みを発表し、会場から多くの質問が寄せられ、活発な情報交換が行われました。登壇者のひとり・八幡平市の佐々木玲哉さんは「失敗も次に生かしながら、酪農家として少しずつ成長しています」とコメントしました。今年度の集いは2回行われる予定で、次回は来年3月に開催予定です。



取り組みを発表する様子



発表者の取り組みを深く知るため、参加者からはたくさんの質問が挙げられました



### タッチ式パネル

現金からQRコード決済まで、お客様の多様なお支払いを可能にしました。



### ピット室

タイヤ・オイル交換等の技術サービスを提供します。



### 自家発電機

地域のライフラインとして、災害時等の停電時にも給油機を稼働させます。有事の際には、給湯など地域住民の皆さまの補助電源とします。  
(みらいステーション石鳥谷)



### ドライブスルー式洗車機

車の汚れを落とし、ワックスやコーティングでボディをガードします。融雪剤による車下部のサビを防ぐ下部洗浄も完備しています。



### 配送中継基地(灯油・軽油)

地域で暮らす皆様に、迅速に燃料油をお届けします。



### 障害のある方のための化粧室

入口にスロープを設け、オストメイトの方や障害のある方にご利用いただけます。  
(みらいステーション石鳥谷)



大型産直施設に併設し、地域の皆様のニーズにお応えします。(セルフ来夢くん)



JAグループエネルギー事業はこれからも岩手に暮らす皆さまのライフラインとしての役割を果たしてまいります。



# INTRODUCTION

全農東北エネルギー株式会社 岩手支店

## 地域のエネルギー拠点として

### 1.はじめに

JAグループのエネルギー事業は、営農用軽油・配送灯油、自動車用燃料、家庭用ガス・電気・太陽光発電の供給をつうじて岩手に暮らす皆さまの暮らしを様々なエネルギーでお支える仕事をしています。

### 2.ガソリンスタンドオープンについて

令和6年11月、新たに県内の2JAでセルフ式ガソリンスタンドをオープンしました。どちらも給油はもとよりタイヤ・オイル交換をはじめとした技術・サービスと、お車を汚れやサビから守る洗車機の設置によりお客様の利便性を最優先にしたスタンドです。

#### (株)JAグリーンサービス花巻 【みらいステーション石鳥谷(愛称)】



オープン日:令和6年11月1日

#### (株)JA岩手ふるさと協同サービス 【セルフ来夢くん】



オープン日:令和6年11月8日

### 全天候型清掃ブース

掃除機・マット洗い機・空気圧ゲージ・タオル等を完備し、お車を綺麗にさせていただきます。





2024いわて純情むすめは、活動開始から半年が経ちました。いわて純情むすめの活動をつうじた感想や、今後の抱負について5人に聴きました。

印象に残っているお仕事は？

せりな 広島と愛媛での販促活動です。参加者で協力して試食販売をおこなって、みんなで一緒にりんごを売る一体感が印象的でした。常に途切れることなくきつてくださるお客様のりんごを選ぶお手伝いをしたことが印象に残っています。販促の前に、りんごについて予習していたのが良かったなと感じました。一緒に販促活動をしたJAの方々も親切にしてくださり、みんなで頑張つて、楽しんで販促活動できたのが一番印象に残っています。

結葉

私もせりなさんと一緒に行った販促が印象に残っています。生産者と一緒に販促を行い、農産物にかける思いを知ることができたからです。また、県

外での活動をつうじて岩手県を外から見るのができ、岩手県の素晴らしさを改めて感じました。また、販促活動をつうじて自分の反省点も見つけることができました。

彩那

私は、カーリング企画です。カーリングをするのは初めてで、とても楽しみにしていたお仕事の1つでした。実際にやると思像以上に難しく、氷の上を歩くだけでも大変でした。小学生のチームとの対決では、試合は2試合とも負けてしまいましたが、とても楽しかったです。

未唯沙

私は、京都でのりんごのせりが印象に残っています。初めてせりを見たので印象が強かったのと、売り手と買い手の繋がりをみるのができたからです。こうして私たちの元に農

佳奏

Instagramでの活動報告だけでなく、レシピ動画を作つて旬の食材を紹介したいと思っています。

県産農畜産物をPRするために、どのようなことが必要だと思いますか？

結葉

私もせりなさんと一緒に行った販促が印象に残っています。生産者と一緒に販促を行い、農産物にかける思いを知ることができたからです。また、県

彩那

生産者の方の農畜産物への思いを伝えることが大切だと思います。私たちが食べている食べ物には多くの時間や愛情が込められていることを知つていただくことで、もっと食べようと思つていただけると思っています。

結葉

販促活動での試食は大事だと思います。実際に食べていただくことで岩手の農畜産物のおいしさをわかつていただけると思っています。

いわて純情むすめとして新たにチャレンジしたいこと、やってみたいことなどはありますか？

彩那

IWATE農LIFEツアーが楽しく勉強になったので、私たちがツアーガイドとして岩手各地の良さや農畜産物をPRしたいです。生産者にインタビューしたり、農作業を体験してみたいです。岩手県の農畜産物についてもっと知りたいと思っています。

せりな

私は、京都でのりんごのせりが印象に残っています。初めてせりを見たので印象が強かったのと、売り手と買い手の繋がりをみるのができたからです。こうして私たちの元に農

結葉

販促活動で、子供がおいしいと言つてくれると、その親御さんに買つていただけたことがあるので、県内外の児童や学生に岩手県産農畜産物をもっとPRしていきたいです。私は県北地区の出身なので、県北の農畜産物を地元でPRしてみたいです。

未唯沙

私は、京都でのりんごのせりが印象に残っています。初めてせりを見たので印象が強かったのと、売り手と買い手の繋がりをみるのができたからです。こうして私たちの元に農

佳奏

私が印象に残っているのは、ズッキーニの販促です。初めての県外での販促活動だったこともあり、とても緊張しましたが、多くのお客様が話しかけてくださり、商品を手にとってくださったことがとても嬉しく印象に残っています。

いわて純情むすめになつて自分自身に変化・成長は感じますか？

せりな

初めて会つた方との会話に抵抗感がなくなりました。また、社会人としてのマナーなどを学ぶことができ、貴重な経験だと感じています。自分の言葉で発信することで、自分に自信がつかしました。

彩那

今までよりも岩手県産を積極的に選んだり、旬の作物を考えるようになりました。特にズッキーニは販促に関わつたことから、今年の夏はたくさん買いました。ガリックバターで炒めるととてもおいしかったです。

佳奏

Instagramでの活動報告だけでなく、レシピ動画を作つて旬の食材を紹介したいと思っています。

後半戦に向けての抱負・意気込みをお願いします。

せりな

前半の活動は、岩手の良さを改めて感じたあつという間の半年間でした。後半も初心を忘れず、生産者の思いを消費者の方々へ届けられるよう笑顔でがんばります。

彩那

純情むすめの活動をつうじて関わる方々との出会いを大切にしながら、もっと積極的に、岩手の農畜産物のことを学んでいきたいと思っています。岩手の農畜産物のことをもっと勉強したいです。勉強したことを「伝える」ように意識して販促活動をおこなっていきたいです。

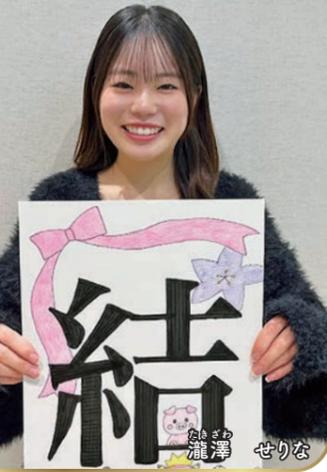
結葉

岩手の農畜産物のことをもっと勉強したいです。勉強したことを「伝える」ように意識して販促活動をおこなっていきたいです。米やりんごやお肉などそれぞれの特徴を覚えて、お客様に説明できるようにになりたいです。前半では岩手の農畜産物の魅力や生産者の思いを学ぶことができました。後半も、学んだことを大切にしながら毎回全力で活動していきます。

未唯沙

佳奏

Instagramでの活動報告だけでなく、レシピ動画を作つて旬の食材を紹介したいと思っています。





生産者と共に奮闘する  
営農支援部の活動をレポート

# TRY! 営農支援 レポート

## 「よりよい営農活動」の取り組みについて

手帳は、平成19年度に県版GAP(廃止済)を作成し、JAいわてグループも県版GAPの普及に取組むこととしました。  
県版GAPの取り組みの中でも「食品安全」は消費者に一番期待されるものなので『生産履歴記帳』はほとんどの生産者が実施していますが、「環境保全」や「労働安全」に関しては消費者の購入動機に訴えるものが少なかったことから、なかなか広がっていませんでした。

### 2. 東京オリンピックとGAP パラリンピックとGAP



営農支援部  
営農技術課  
千葉 丈

### 1. 生産履歴記帳運動とGAP

JAいわてグループは、平成14年度から食の安全・安心確保のため「生産履歴記帳運動」を取り進めてきました。その頃、すでにヨーロッパでは食品安全のみならず環境保全・労働安全を含めた持続的農業を進めるためGAP(Good Agricultural Practices) ↓適正農業規範)の取り組みが開始されていました。国は、平成18年度にGAPを農業生産工程管理」として基礎GAPを作成し、GAP手法の普及を図りました。岩

### 3. 「よりよい営農活動」としてGAP

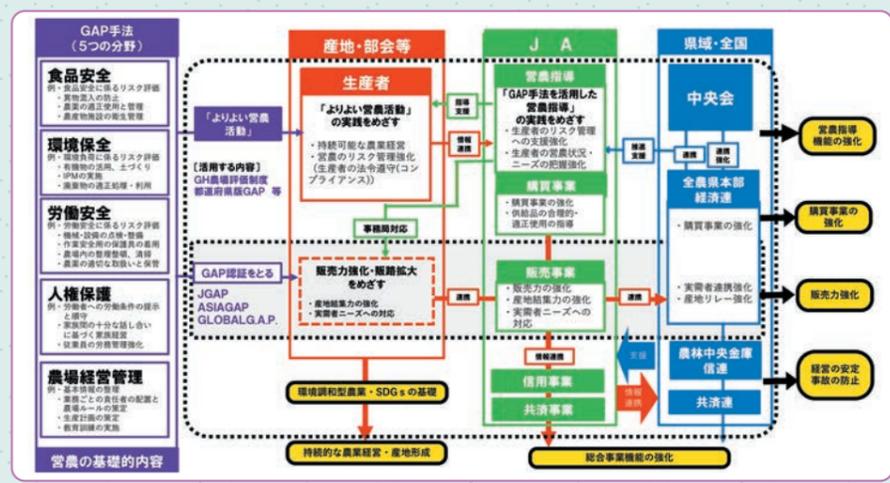
そこで全国連は、「GAP(Good Agricultural Practice)」がこれまでの取組経過から第三者認証GAP(II GAP 認

証をとる)のイメージが強いため、よりGAPの本質を表し、営農現場におけるリスク管理(法令遵守・コンプライアンスを含む)・経営改善の取り組みであることをイメージできるように「よりよい営農活動」実践運動」と名称をつけ、認証取得にこだわるのではなく、GAP手法を活用して農業生産の各工程を管理・改善し続けていく活動(II GAP をする)を令和6年度から展開することとしました。  
JAいわてグループは、全国連の「よりよ

### よりよい営農活動 取組事項

- 1 生産者のGAP手法取組みを指導ができる職員の育成を目的とした研修会等の企画・開催(JGAP・GH農場評価等)
- 2 生産者・JAの「GAPをする」の実践に向けた支援としてDXの試行
- 3 GAP手法の取組み促進・展開に資する各種情報の提供
- 4 営農指導員の強化、産地課題解決に取り組む人材育成
- 5 生産者・生産組織等のGAP認証の取得・更新等の取組みに対する補佐・支援

### JAグループとして 「よりよい営農活動」に取り組む目的・方向性



い営農活動」の「県域モデル」となって全国域支援を受けながら、若手県とも連携し、若手県が定めたいわて国際水準GAP(以下、新県版GAP)の普及に向けた取り組みとGAP人材育成活動の促進を行っていきこととしました。若手県本部営農支援部もこの活動に参画し、新県版GAPの普及や定着、第三者認証GAPの取得支援に取り組み、若手県内ほぼ全ての産地で「よりよい営農活動」新県版GAP」に取り組まれることを目指しています。



営農支援部  
営農技術課  
たかはし みと  
高橋 美翔さん

- 趣味・特技  
ゲーム・読書。最近は休日をほとんどゲームに費やしています。大学時代を買って読み切れていないスカイ・クロラシリーズをいつか読み切りたいです。
- 現在の担当業務  
土壌診断受付業務、Z-GIS対応など。JA江刺副担当、JAおおふなと担当として先輩の方で学ばせていただいています。また、研修・講習会への参加や調査の同行もさせていただいています。
- これからどんな職員になってみたいか  
知識の豊富な職員になりたいです。今は先輩方に頼りすぎている面もあるので、自分自身が頼りにされるようになりたいです。そのためにも、すでに学んだことを身につけるとともに、今後も講習会や資格の勉強などを頑張ります。
- その他アピールポイント  
実家で水稲を栽培しているのですが、特に詳しい知識のなかった入会前と比べて今は稲を見るのがより楽しいです。コメの品種やよし悪しを見分けられるようになるのが今の目標です。

## Let's try cooking orders 40



## 手軽にできる、幸せの時短メニュー! お餅で「ラザニア」

- ◇材料(1人分)
- 切り餅…1~2個
  - ミートソース(市販品)…130g
  - ホワイトソース  
[●バター…20g ●小麦粉(薄力粉)…大さじ2  
●牛乳…220cc ●塩・コショウ…適量]
  - ピザ用チーズ…20g
  - パセリ(みじん切り)…適量

- ◇作り方
- 1 餅は横に4枚スライスしておく。
  - 2 ホワイトソースを作る(鍋にバターを溶かし、溶けたところに小麦粉を入れてしっかりと炒めたら、牛乳を少しずつ加えて伸ばし、塩・コショウで味を調える)。
  - 3 耐熱容器の一番底に2のホワイトソース、次にミートソース、その上に1のスライスした餅を載せ、それをもう一度繰り返す。
  - 4 最後は、ミートソースまたはホワイトソースが上にくるようにして、一番上にピザ用チーズを載せ、パセリを振る。
  - 5 オーブントースターで4を約15分加熱し、中の餅が溶けて表面に美味しそうな焦げ目がついたら完成!

料理監修 オーナー/佐々木朋美  
紫波郡矢巾町又兵衛新田7地割199  
くるみアパートメント1F  
TEL 019-681-7337  
Mail tom1123tom@icloud.com  
https://tom-creperie-deli.com

いわたの牛乳 牛乳でスマイル

※JA全農いわては、農林水産省と一般社団法人ミルクが立ちあげた「牛乳でスマイルプロジェクト」に参加しています。

# いわたの牛乳 ありがとうキャンペーン

2024 12/1(日) >> 2025 2/28(金)

抽選で **390** 名様に サンキュー 当たる!

## 20ℓコース

20ℓ分を一口としてご応募ください

**A賞** いつでも、どこでも、誰とでも

4名様

任天堂 Nintendo Switch

**B賞** 3名様

選べる!ペア宿泊券

**C賞** 3名様

BRUNO カタログギフト

## 10ℓコース

10ℓ分を一口としてご応募ください

**D賞** いわたの牛乳 乳製品セット

160名様

**E賞** いわた牛焼肉 もも・ばらミックス

30名様

**F賞** いわた純情米 キューブ米3種 (3合×各2個)

10名様

**G賞** JAタウンギフトカード 5,000円分

10名様

**H賞** ニッポンエール 商品詰め合わせ

10名様

**I賞** アイリスオーヤマ ヨーグルトメーカー (KYM-016)

10名様

## 5ℓコース

5ℓ分を一口としてご応募ください

**J賞** 50名様

いわたの牛乳 オリジナルオカード1,000円分

**Wチャンス** 100名様

各コースにはずれた方の中から抽選で当たる!

いわたの牛乳 オリジナルグッズ ボールペン・ステッカーセット

※不測の事態が生じ賞品の入手が困難となった場合は現行相当品に変更させていただく場合がございます。予めご了承ください。※写真はイメージです。色はお選び頂けません。

応募締め切り 2025年2月28日(金)【当日消印有効】

**応募方法** キャンペーン対象メーカーの牛乳パックに記載の「公正マーク表示部分」を切り取り、20ℓコースは20リットル分、10ℓコースは10リットル分、5ℓコースは5リットル分を1口として、専用応募封筒または一般封筒に必要事項(郵便番号・住所・氏名・年齢・性別・電話番号・ご希望のコース・賞品)を明記の上、ご応募ください。お一人様何口でもご応募いただけます。

公正マーク表示部分の種類別名称に「牛乳」以外の名称が記載されているものはキャンペーン対象外です。(※加工乳・乳飲料・はっ酵乳・乳酸菌飲料・チーズ等は対象外)

**対象メーカー** ・(有)安比高原牧場 ・岩泉ホールディングス(株) ・(株)岩手牛乳 ・大石乳業(株) ・(株)おおのミルク工房 ・奥中山高原農協乳業(株) ・(一社)葛巻町畜産開発公社 ・小岩井乳業(株) ・タカナシ乳業(株) ・(一社)田野畑村産業開発公社 ・不二家乳業(株) ・YUDAミルク(株)(湯田牛乳公社) ※50名額



いわたの牛乳ありがとうキャンペーン事務局 [(株)岩手広告社内] ☎0120-623-706

受付期間 2025年3月末日まで  
受付時間 10:00~17:00(平日のみ)

※個人情報は厳重に管理し、お申し込みいただいた個人情報は、賞品の抽選・発送のみに使用いたします。お客様の承諾なく第三者へ提供・開示いたしません。 弊会からのメールは個人情報を開示しないようになっています。

### 編集後記

新年あけましておめでとうございます!  
2025年は巳年です。みなさまにへび一級の幸せが訪れる1年になりますように。  
今年もどうぞよろしくお願いたします! (西川)

## KLARA

タイトルのKlara(クララ)は、宮沢賢治の手帳にしている言葉で、エスペラント語で「晴」「暖かい」を意味します。全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかにという願いが込められています。



私たち全農グループは、生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋になります。

- 私たちは「安心」を3つの視点で考えます。
- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
  - 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
  - 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

